

【オリコン 隧道補修に ECI 方式活用 成果に手応え、自治体に採用提案】

オリコン 隧道補修に ECI 方式活用 成果に手応え、自治体に採用提案

オリエンタルコンサルタンツ（オリコン、野崎秀則代表取締役社長）は、設計段階から施工者が参画し、施工の実施を前提として設計に対する技術協力を行う「ECI（アーリー・コントラクター・インボルブメント）方式」を活用し、和歌山県日高川町が実施した糠越（ぬかごえ）隧道補修の事業マネジメントを支援した。

このトンネルには、遊離石灰による不可視部分があり、遊離石灰の除去を行った後で対策の設計を行う必要があるなど、設計と施工を一体的に進める必要があったことから、ECI方式を活用した。

糠越隧道（トンネル）の概要は、延長706m、幅員7・7m（車道2車線、歩道なし）。設計の履行期間は2018年7

会での漏水対策（止水注入、線導水樋、水抜き）の範囲や数量などの協議
・提案▽遊離石灰の撤去、水抜き工の延長などの出来高管理▽「トンネル補修ガイドライン」の策定―を担当。

その結果、設計から施工完了までの事業期間が短縮。また、第三者被害リスクを短期間で排除することもでき、CMによる施工品質の向上や、現場状況に即した工事費の適正使用、さらにガイドラインの整備などによるトンネル補修時のECI方式を活用し手法の確立につなげることができたという。



補修後の糠越隧道

月20日～19年3月25日。補修工事は18年11月7日～19年5月31日。オリコンはこの方式による事業マネジメントのうち、▽遊離石灰後のトンネル変状に対する補修詳細設計▽三者協議

オリコンは、今回の業務の成果である「『ガイドライン』を活用、全国基礎自治体にECI方式の採用を積極的に提案している」について